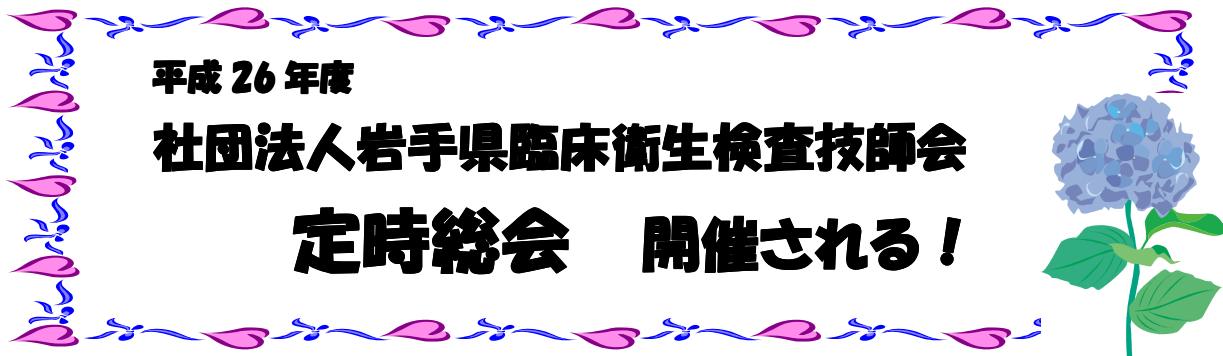




**平成 26 年度**  
**社団法人岩手県臨床衛生検査技師会**  
**定時総会 開催される!**



平成 26 年度 一般社団法人岩手県臨床衛生検査技師会定時総会が、5 月 31 日リリオにて開催されました。精度管理調査報告会と同日開催ということもあり、多数の皆様にご参加いただきました。お忙しい中参加された皆様、ありがとうございました。



議長には浅沼匡介氏が選出されました。出席者 51 名・委任状 352 名あわせて 403 名で、会員数 523 名の過半数を満たした事より、資格審査委員長から総会成立が宣言されました。平成 25 年度事業・決算報告、平成 26 年度事業計画・予算案はすべて承認されました。

今年度は、北日本支部医学検査学会を岩手県で開催致します。会員の皆様には、技師会活動に益々のご理解・ご協力を賜りたいと思います。活発で魅力ある技師会となるように、会長安保はじめ役員一同努めてまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

## 平成26年度 一般社団法人岩手県臨床衛生検査技師会定時総会議事録

日時 平成 26 年 5 月 31 日 (土) 午後 3 時 00 分～

場所 リリオ 3 階 イベントホール

### 1. 開会の辞

### 2. 会長挨拶

### 3. 議長選出

議長

浅沼匡介氏 (盛岡赤十字病院)

事務局より提案され、全会一致で承認。

### 4. 総会役員選出

資格審査・議事運営委員 紺野利一郎 理事(委員長)、高橋幹夫 理事、

佐藤あづさ氏 (県立宮古病院)、藤倉由規氏 (県立大船渡病院)

書記

古城智絵 理事

議事録署名人

柳本実 事務局長、富澤静子氏 (岩手医大付属病院)

### 5. 総会成立の確認

資格審査委員長より報告。

会員 523 名 出席者 51 名 委任状 352 名

以上、出席者と委任状合わせ 403 名で過半数を満たしており、定款 第 4 章 第 20 条 2 項の規定により総会は成立し、議長より通常総会の成立が宣言された。

### 6. 議事

#### 承認第 1 号 平成 25 年度事業について

○一般経過報告

安保 淳一 会長

○事務局行動日誌

柳本 実 事務局長

○事業報告

1) 総務部

行森 良一 副会長

2) 学術部

岩淵 義文 副会長

3) 公益事業部

川村 将史 理事

4) 生涯教育研修部

畠山 秀樹 理事

5) 精度管理・書記会報・地区理事会

安保 淳一 会長

#### 承認第 2 号 平成 25 年度決算について

井上 幸男 理事

岩臨技が昨年 4 月より一般社団法人へ移行したことにより、昨年度までの決算書とは様式が異なるため、予算額や昨年との比較は併記されていない。

・収支計算書 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

収支において約 100 万円の赤字となっているが、仙台での北日本支部学会視察費用と連絡網整備のための iPad mini を購入したことが含まれている。前者については学会経費から補てんされ、後者は前年度、東臨技からの補助金を得ているので実質の赤字は 20 万円ほどと理解していただきたい。

( い わ て )

- ・収支計算書に対する注記
- ・財産目録 (平成26年3月31日現在)
- ・貸借対照表 (平成26年3月31日現在)
- ・正味財産増減計算書 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

承認第3号 平成25年度監査報告について 藤原 雅之 監事

平成25年度監査報告書

\* 以上承認第1号、2号、3号とも質疑なく、それぞれ賛成多数で承認された。

第1号議案 平成26年度事業計画(案)について

○平成26年度事業計画(案) 安保 淳一 会長

岩臨技でも「検査説明・相談のできる検査技師育成」のための研修会を開催する予定なのでこの事業について周知させていきたい。

○事業計画(案)

1) 学術部 岩渕 義文 副会長

岩手県・宮城県合同研修会

平成26年9月20日 宮城県担当 気仙沼市で開催予定

2) 総務部 行森 良一 副会長

3) 公益事業部 川村 将史 理事

4) 生涯教育部 畠山 秀樹 理事

5) 精度管理・書記会報・地区理事会 安保 淳一 会長

第2号議案 平成26年度収支予算(案)について

平成26年4月1日～平成27年3月31日 収支予算書

井上 幸男 理事

\* 以上第1号、第2号議案とも質疑なく、それぞれ賛成多数で議決された。

その他

・三陸地区理事 田頭俊夫氏の異動に伴い、二ツ森秀一氏(県立山田病院)への交代が執行部より提案され、賛成多数で承認された。

・北日本支部医学検査学会予算書について執行部より説明、演題登録のお願い。

7. 総会役員解任

議長がすべての議事が終了したことを告げ、総会役員を解任した。

8. 議長解任

9. その他

10. 閉会の辞

以上議事録に相違ない事を確認しました。

平成26年5月31日 総会議長 浅沼 匡介

議事録署名人

柳本 実

富澤 静子

## 精度管理調査報告会・定時総会に参加して

### 恵仁会 三愛病院 高橋翔子

私は平成26年5月31日に行われた「平成25年度精度管理調査報告会」と「平成26年度岩手県臨床衛生検査技師会定時総会」に参加させていただきました。

昨年、新社会人になった私にとって精度管理調査はいつも以上に緊張しながら試料を機械にかけ、写真問題を教科書等で調べて解き、自分が悩みに悩んで解答を出した思い出があります。調査の結果が戻ってきて、昨年悩んで解答した問題も半年ほどルーチンをこなしてきた私が解いてみると、病態と臨床との繋がりから問題を「理由付け」して考える事ができるようになっていて驚きました。そのような気持ちの時に報告会に参加し、もっと具体的な考え方・理解の仕方など部門担当者の方々から直接解説を聞くことができ、とても参考になりました。今回学んだ事をこれからの仕事に活かしていきたいです。

また、総会では11月に岩手県で開催される「北日本支部医学検査学会」について、地元の私達が一丸となって「魅了される学会」を作り上げ、北日本各地から参加される方々には「魅了された学会」だと思えるように設営・準備など頑張っていく必要があると感じる議案内容でした。学会に参加された方々には、「岩手で開催して良かった」と感じていただき、参加できなかった方々にも参加された方の話を聞いて「次は参加してみたい!」と思ってもらえるよう、盛大に盛り上げて大成功で終わらせられるよう頑張りたいです。



### 県立二戸病院 松橋優希

5月31日に盛岡の「リリオ」で行われた精度管理調査報告会に出席させていただきました。過去に「リリオ」に行ったことがないにもかかわらず、自分に盛岡の土地勘はあると思いきみ地図を持たずに出発しましたが、迷いました。初めて行く方は、地図を持参することをお勧めします。

昨年度の精度管理調査でしたので内容を忘れていた部分もありましたが、委員の方々からの発表は聞きやすく、より深い知識を教えてくださいました。外部精度管理は、精度保証だけではなく、ルーチン業務と同様に勉強の場であることを再確認しました。昨年度をふまえ、今年度の精度管理調査に臨みたいと思います。日々の業務でお忙しいこととは思いますが、今年度もよろしくお願ひ致します。

## 検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会(岩手)開催に向けて

岩手医科大学附属病院 千葉拓也

平成 27 年 1 月 31 日 ( 土 )、2 月 1 日 ( 日 ) に検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会 ( 岩手 ) を開催するため準備を進めています ( 場所未定 )。この事業は日臨技が主催であり、講習会名にあるように検査説明・相談ができる臨床検査技師を育成することを目的としています。臨床検査技師による検査説明・相談の必要性と意義について簡単にご説明します。

現在、業務の増大に伴う医療現場の疲弊を改善すべく、医師でなくても対応可能な業務を医師が行っていることが病院勤務医の厳しい勤務環境の一因であることが指摘されています。平成 19 年 12 月 28 日付の医政局長通知「医師及び医療関係職と事務職員等との間等での役割分担の推進について」により、採血・検査についての説明は医師及び看護職員のみで行っている現状を臨床検査技師との適切な業務分担を導入することで、医師等の負担を軽減することができるとされました。さらに平成 22 年 4 月 30 日付け医政局長通知「医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について」では薬剤師による処方提案であったり、理学療法士の喀痰吸引などの業務が整理されています。臨床検査技師に関しては、今後の審議の議題にかけられる予定にインフルエンザの検査の際の鼻腔拭い液による検体採取 ( 細菌・真菌検査、糞便検査採取なども ) があります。これだけチーム医療の必要性が重要視されているなか、「検査説明について」はほとんどが医師・看護師によって行われている現状があり、実際に検査のプロ集団である検査技師が担当している施設はごくわずかしかなかった。実際に検査説明を実施している施設では、「数字の意味が理解できた」「データを体の変化としてとらえることができ治療をがんばろうと思える」など、患者さんの病気に対する前向きな姿勢が感じられたそうです。医師からは、患者に詳細な説明をする時間が無いため有難い、手術前の患者では手術当日までの体調管理向上につながるのありがたいという声が出ているそうです。目的としては、あくまで診断することではなく患者さんの健康状態について理解を促すとともに必要な生活習慣の改善をサポートすることと話していました。しかし、検査説明といってもすぐにできるわけではありません。検査値と病態、検査結果の解釈、検査の意義などの知識、コミュニケーション技術を含む検査説明の知識・技術が必要とされます。2 日間の講習会はこれらの知識・技術はもちろんのこと、患者接遇など幅広く学べる内容になっています。会員のみならず多数の参加をお待ちしております。

最後にチーム医療の一員として、患者側にたった臨床検査技師像を想像していかなければなりません。

「臨床検査技師の存在なくしては、日本の医療はあり得ない！」

(いわて)

## 「岩手医学検査」に投稿して

盛岡赤十字病院 武田一成

今回、岩手医学検査第1号の学術誌ということで、私のような新人が投稿していいものかどうかとても不安な気持ちがありましたが、自施設の先輩方のご協力を得ながら無事に投稿することができ本当に感謝しております。また、岩手医科大学医学部臨床検査医学講座教授の諏訪部章先生から査読していただき、多大なるご指導を受け、心から感謝申し上げます。今回の論文投稿は私にとっても初の試みでしたが、これをきっかけに更なるスキルアップを目指していきたいと考えております。また、論文が採用され1万円分の図書カードを頂きました。皆様も是非、投稿されてみてはいかがでしょうか。そして、この学術誌が末永く続くことを私も願っております。



### 平成25年度 第5回岩臨技理事会議事録

### 北日本支部医学検査学会第3回実行委員会議事録

日時：平成26年5月31日(土) 10:00~12:00

場所：リリオ5階

出席者：安保淳一 岩渕義文 行森良一 畠山秀樹 川村将史 井上幸男 古城智絵  
工藤ふみ子 佐々木道子 高橋泰美 菊池英岳 高橋幹夫 伊藤麻貴子  
紺野利一郎 柳本実 畠山裕司

山田友紀 小穴夏子 新沼美穂子 相馬明美 千葉拓也 石澤毅士

二ツ森秀一 水野幸人 浅沼匡介 金田一徹 下川波歩

開会宣言(安保会長)：理事15名中14名の出席を得て、理事会の成立を宣言。



議 題 :

## I. 報告事項

1. 常務理事会：4月16日(水)岩手医大技師研修室  
平成26年度事業計画、予算案について協議。  
一般社団法人移行に伴い、会計方式が大幅に変更となった。
2. 岩臨技 平成25年度末 会計監査：4月25日(金)岩手医大技師研修室
3. 岩臨技 平成25年度末 事業監査：5月13日(火)盛岡日赤病院
4. 日臨技 平成26年度通常総会：5月24日(土) 東京 大森東急イン  
日臨技からの会員意識調査アンケート・会員数集計結果報告。  
検体測定室に関するガイドラインの報告。  
検体採取に関する臨検法が改正される見込み。教育・研修が追加される方向。  
検査説明のできる技師研修を、岩手でも来年1/31・2/1(50人程)開催予定。
5. 日臨技 技師連盟代表者会議：5月24日(土) 東京 日臨技会館  
日臨技として政治連盟への取り組みを強化するために、連盟への会員登録・会費納入が簡単に行えるようにホームページを作成した。
6. その他  
生涯教育推進研修会助成金について、平成26年度は研修会毎に最高5万円の助成を受け  
ることとした。次年度からは研修会毎に2万円及び参加人数(最高60名)×500円(最高5  
万円)の助成になる見込み。検査説明の研修会等も助成が受けられる。

## II. 精度管理調査報告会・平成26年度定時総会について

1. 精度管理調査報告会について  
今年度は、費用の問題により精度管理報告書の印刷を断念し、ホームページへの掲載と  
した。次年度からはフォーマットをコンパクトにするなどして、印刷する方向で検討し  
たい。
2. 議案書の確認  
平成25年度事業報告  
・生涯教育活動状況は例年通り。基礎教科の申請が若干少なかった。  
・会計報告は一般社団法人移行に伴い、県に届ける様式に従い書式が大幅変更となった。  
各地区の会計も新しい書式で事務局に報告する。  
平成26年度事業計画について(案)  
・事業計画：(安保)  
・総務部：(行森)  
・学術部：(岩渕)  
・公益事業部：(川村)  
・生涯教育研修部(畠山)  
・事務局：各地区技師会の事業報告、事業計画(柳本)  
・会 計：平成26年度予算案(井上)
3. 北日本支部医学検査学会について
4. 平成26年度定時総会進行について

5. その他

- ・ JAMTIS の使用について、連絡先設定等の問題があり、岩臨技として独自の連絡体制を構築するよう検討する。
- ・ 会員名簿発行時期について、異動・退職・新採用等の兼ね合いもあるので、今回は 4 月末頃を目途に確認作業を行った後発行する。また、ネット上で各施設に会員情報の校正をしてもらう等、作成・発行方法も検討する。
- ・ 検査説明・相談ができる技師の事業について、研修会を来年 1/31・2/1 に開催予定。日臨技としては、参加費 1 万円を各施設から負担してもらいたい。事業内容を会員に周知してもらい、趣旨に賛同してもらうため、研修会を行う。盛岡・中部地区では既に実施したので、北部・三陸・南部地区でも行いたい。

**Ⅲ. 第 3 回北日本支部医学検査学会について**

1. 経過報告

- ・ 一般演題募集要項を各都道府県に配布した。7/31 に抄録原稿締切。演題 100 題を目標とする。岩手県からも、30 題程度出していただきたい。
- ・ 演題は、当日受付(PC4 台)とし、有線(無線)LAN で各会場へ送信する。但し、5 階会場に関しては USB 対応になる可能性もある。
- ・ 参加受付は混雑が予想されるため、1 日目はアイーナの他に、県民プラザでも受付する。可能かどうか、現在ネットワーク環境を確認中。
- ・ 学会予算書の説明。
- ・ 学会プログラムの確認。日臨技からの企画も 2 つ予定する。
- ・ シンポジウムは、これからの臨床検査がどうあるべきか、を既に模索している施設の実例を話して頂く方向で検討中。
- ・ プログラムが確定次第、会場の割り振りを決定する。
- ・ 11/21(金)のナイトセミナーを希望する部門があれば、会場に空きがあるので開催可能である。
- ・ ランチョンセミナーは 14 社まで受付可能。現時点で 2 社の応募あり。
- ・ 広告展示は現時点で 5 社の応募あり。

2. 各学術部門の進捗状況

- ・ 各部門の技術セミナー・教育講演の進捗状況報告。
- ・ 講師が決定している部門は、依頼状送付のため、講師連絡先を事務局に報告。
- ・ 講師の旅費見積もりを、後日各部門長にお願いする。
- ・ プログラム確定を早急に行い、演題名は 6 月末までに、抄録は 7 月末までに登録して頂く。

3. その他

- ・ 前回の反省をふまえ、実務委員で前日受付シュミレーションを行う。
- ・ 抄録・会場備品準備等も、担当者で少しずつ準備を進める。



( い わ て )

今回の“つなぐ”は、かなざわ内科クリニックの川口伸広さんです。

## “つなぐ”

フィリップス・レスピロニクス合同会社の吉田さんからご紹介いただきました川口伸広です。盛岡のかなざわ内科クリニックにて、睡眠時無呼吸症候群の診断のための検査、及び治療に関する業務を主に行っています。

さて、今回は私の昔の活動についてお話をしたいと思います。2003年から2年間、青年海外協力隊員として、ラオスのルアンパバーン県病院で活動していました。ラオスはインドシナ半島の内陸に位置し、東南アジアで最貧国と言われています。ルアンパバーンは、街全体が世界遺産に登録されラオスの観光地です。

現地での生活は、亜熱帯性の気候と、終わりのない酒の回し飲みの伝統、そして度重なる体調不良との戦いで、体調管理には悩まされました。そして、言葉の壁。事前に3ヶ月の語学訓練を受け現地入りしたものの、ラオ語の発音に苦戦し、最初は食堂で注文するのも一苦勞で、言葉の

大切さをあらためて実感させられました。

活動内容は血液形態学の技術指導でした。技術指導に励む傍らで、熱帯地方特有のマラリアや寄生虫など自分自身の勉強の場となりました。寄生虫撲滅作戦として、村の小学校へ出向き衛生指導、検査、与薬を行う活動もしました。

現地の人はもちろんのこと、他国のボランティア関係者との異文化交流や、色々な分野で活躍されている日本人との交流は大切な財産となっています。

みなさん、ルアンパバーンに立ち寄る機会があったら、ノブを知っているか？と尋ねてみて下さい。きっと思い出話をしてくれることでしょう。

それでは、次は盛岡つなぎ温泉病院の遅澤利彦さんへつなぐます。お湯加減はいかがですか？



## 研修会のご案内

### 平成 26 年度 岩臨技 血液検査部門研修会

日 時： 平成 26 年 7 月 5 日 (土) 14:00~16:40  
場 所： 岩手医科大学循環器医療センター 3階研修室  
内 容： データからみる凝固異常症 他  
参加費： 無料(日臨技会員) 1,000 円(非会員)  
日臨技生涯教育点数：専門 20 点

※事前に配布した血液細胞 30 設問にチャレンジして、問題用紙をご持参ください。解説があります。

### 平成 26 年度 日臨技北日本支部 臨床検査総合部門研修会

日 時： 平成 26 年 7 月 12 日 (土) 13:00~ 13 日 (日) 13:00  
場 所： 東北大学医学部保健学科 大講義室  
テーマ： 検査室の診療と経営への貢献  
受講料： 5,000 円

北日本支部医学検査学会のホームページができました！

<http://www.iwateamt.or.jp/3thkitaniho/index.html>

お知らせ等を、随時更新していきます。

是非ご覧いただき、進捗状況をご確認ください。

みんなで参加し、つくりあげて、盛大な学会にしましょう！

#### ★☆編集後記☆★

梅雨真っ只中、皆様いかがお過ごしですか？  
爽快な気分とは…なかなかいかないですね。

日常業務や精度管理調査など、次から次へと  
押し寄せてくる仕事に追われ、目まぐるしくお  
忙しい日々をお過ごしの方も多いと思います。

しかし、折角四季の美しい日本に暮らしてい  
るのですから、たまにはちょっと歩みを止めて、  
自然を愛でてみてはいかがでしょう。

優しい雨音、水に濡れて艶めく紫陽花、いきい  
きと輝く生命たち…何だか梅雨も楽しくなっ  
てきませんか？

(伊藤)

#### 会報「いわて」第 295 号 2014.

一般社団法人岩手県臨床衛生検査技師会

発行人：

会 長： 安保 淳一

事 務 局： 柳本 実

編集責任者： 伊藤 麻貴子

古城 智絵

〒020-8505 盛岡市内丸 19-1 岩手医大中検内

Tel.(019)651-5111内線3651 Fax.(019)654-8510

<http://www.iwateamt.or.jp/>

会報専用メールアドレス：

[kaiho@iwateamt.or.jp](mailto:kaiho@iwateamt.or.jp)